

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年6月9日

小児多臓器炎症性症候群の発生率と重症化率：オミクロン株までの各変異株別解析：イスラエル

【松崎雑感】

新型コロナの小児併発疾患ともいえる「小児多臓器炎症性症候群（MIS-C）」が、オミクロン株流行時で、発生率が激減していることがわかりました。人口全体に対する感染能力を優先して変異した結果、小児の免疫に対する攻撃が減ったのかもしれない。いずれにせよ、喜ばしいことです。ただし、このまったく新しい感染症の帰結は2年程度で全貌がわかるはずはありません。30年、50年単位の追跡が必要でしょう。

小児多臓器炎症性症候群の発生率と重症化率：オミクロン株までの各変異株別解析：イスラエル

Levy N, Koppel JH, Kaplan O, et al. **Severity and Incidence of Multisystem Inflammatory Syndrome in Children During 3 SARS-CoV-2 Pandemic Waves in Israel** [published online ahead of print, 2022 May 19]. *JAMA*. 2022;e228025. doi:10.1001/jama.2022.8025

【説明】小児多臓器炎症性症候群（MIS-C）はCOVID-19の感染後合併症であり、小児および21歳未満の青少年に認められる。年齢中央値8歳。ICU治療の必要な例もあるが、死亡率はごく低い。

•若年の成人にも同様の症状がみられることがある。成人多臓器炎症症候群（MIS-A）と呼ばれる：[MMWR Morb Mortal Wkly Rep 69: 1450, 2020.](#)

•通常、発症は急性感染の2～6週後だが、必ずしも急性感染が確認されるとは限らない。

•CDCの症例定義：年齢<21歳、発熱、臨床検査で炎症を認める、重症入院患者、多臓器に及ぶ：心臓、腎臓、呼吸器、血液、消化器、皮膚、神経系＋他の診断がつかない＋現在/直近のSARS-CoV-2検査陽性または発症の4週間以内にCOVID-19曝露あり。

【本文解説】イスラエルでは、アルファ株、デルタ株流行時に比べて、オミクロン株流行時のMIS-C発生率は一桁低くなっている

変異株流行期別MIS-C発生率：イスラエル

Pandemic wave data ^a	アルファ	デルタ	オミクロン	Total
MIS-C症例数 (%)	103 (40.5)	115 (45.3)	36 (14.2)	254
18歳以下の新型コロナ感染者数	188 800	233 585	946 779	1 369 164
MIS-C発生率(対10万人)	54.5	49.2	3.8	
オミクロン株流行時と比較した発生倍率	14.34 (9.81-20.96)	12.94 (8.90-18.81)	1 [Reference]	